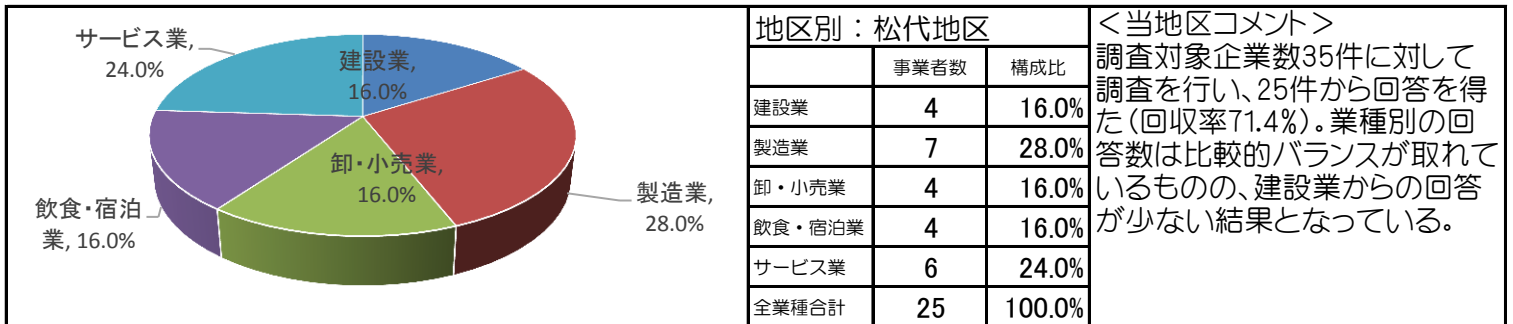
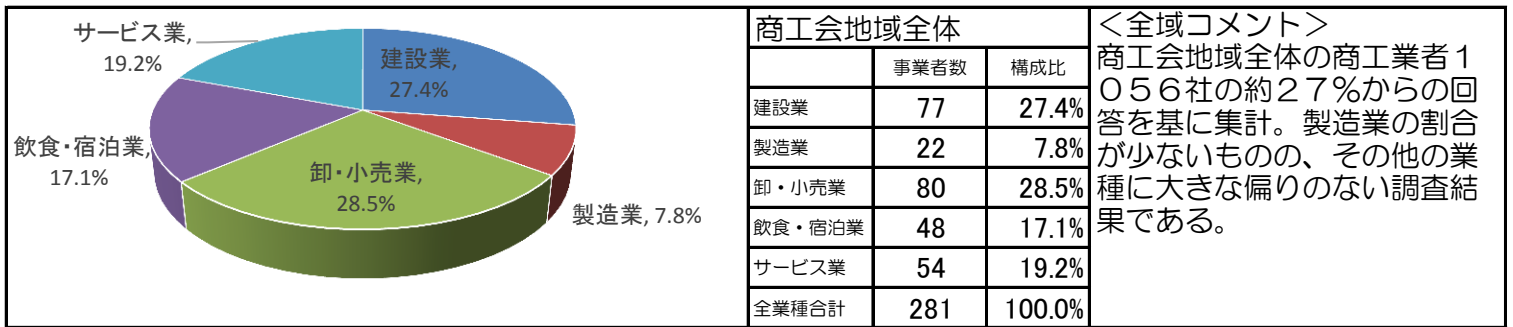


十日町市商工会地域 企業景況調査 第4四半期報告書 (H29.1.1~H29.3.31) 松代地区

小規模事業者以外含む全事業所

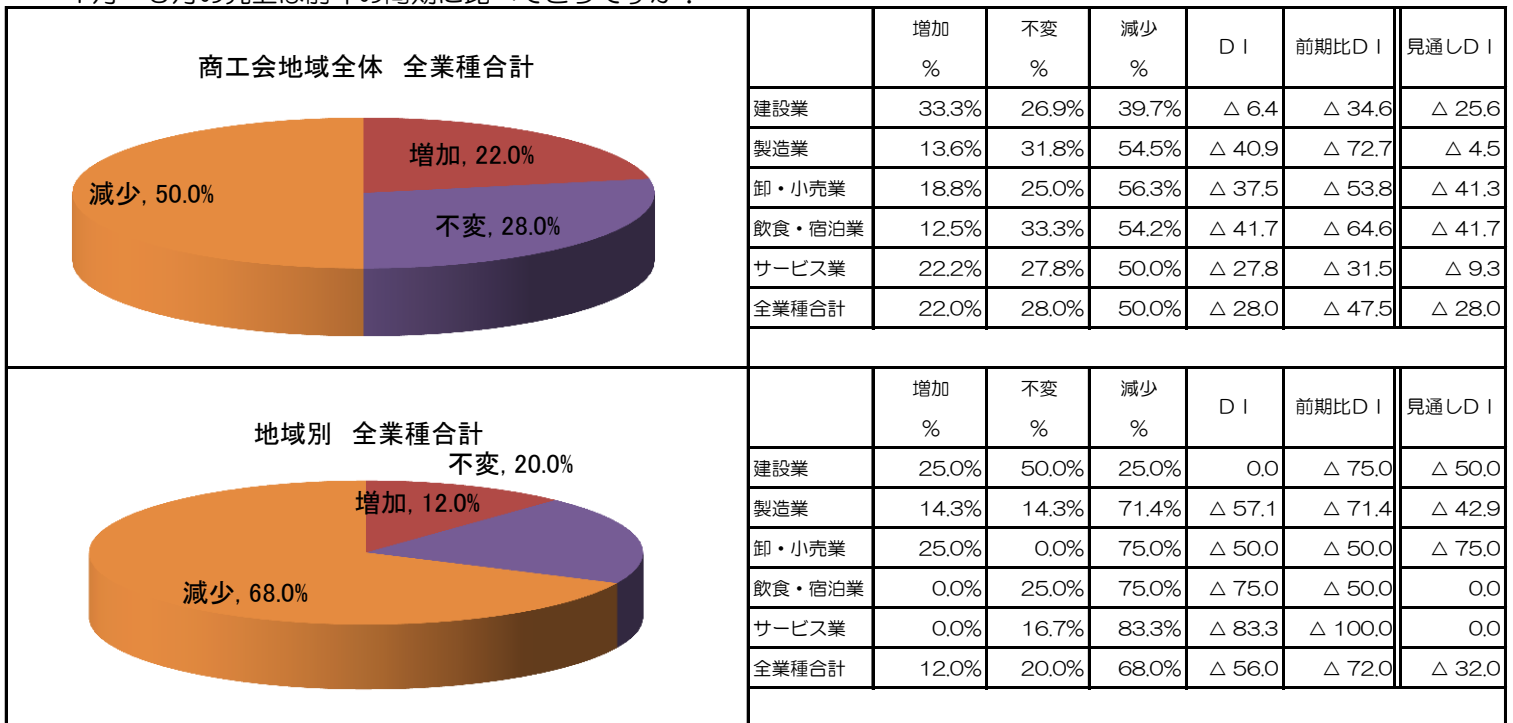
◇ 調査対象事業所構成割合



DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

1. 売上について

・1月~3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？



＜全域コメント＞ 売上は、前年同期と比べると全業種で△28ポイント減少。製造業と飲食・宿泊業の減少が目立つ。前期比では、全業種で△47.5ポイント減少。製造業と飲食・宿泊業の減少幅が大きい。今後の見通しでは、全業種△28ポイント減少予想であるが、前回調査見通しと比較すると29ポイント改善している。

＜当地区コメント＞ 売上は、前年同期と比べると全業種で△56.0ポイントとなっており、特に、飲食・宿泊業、サービス業では「増加」の回答がゼロになっている。前期比においても全業種で△72.0ポイントでサービス業が極めて悪い。今後の見通しでは、△32.0ポイントであるが、減少幅は少なくなり、前回調査の見通しよりもマイナス幅が小さくなり、改善の兆しが伺える。

## 2. 採算について

・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	26.9%	35.9%	37.2%	△ 10.3	△ 26.9	△ 28.2
		製造業	13.6%	31.8%	54.5%	△ 40.9	△ 72.7	△ 9.1
		卸・小売業	12.7%	34.2%	53.2%	△ 40.5	△ 57.0	△ 45.6
		飲食・宿泊業	10.4%	39.6%	50.0%	△ 39.6	△ 56.3	△ 35.4
		サービス業	17.0%	50.9%	32.1%	△ 15.1	△ 22.6	△ 11.3
		全業種合計	17.1%	38.6%	44.3%	△ 27.1	△ 43.2	△ 29.6
地域別 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0
		製造業	14.3%	14.3%	71.4%	△ 57.1	△ 71.4	△ 42.9
		卸・小売業	0.0%	25.0%	75.0%	△ 75.0	△ 75.0	△ 75.0
		飲食・宿泊業	0.0%	25.0%	75.0%	△ 75.0	△ 50.0	0.0
		サービス業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 33.3	0.0
		全業種合計	4.0%	36.0%	60.0%	△ 56.0	△ 52.0	△ 32.0

<全域コメント> 採算は、前年同期と比べて全業種△27.1ポイント減少。製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業が約40ポイント減少している。前期比では、全業種△43.2ポイント減少。特に製造業の減少が目立つ。今後の見通しでも、全業種△29.6ポイント減少予想であるが、前回調査見通しとの比較では24.7ポイント改善している。

<当地区コメント> 採算は、前年同期と比べて、全業種で△56.0ポイントであり、製造業を除いて「好転」の回答はなかった。前期比でも状況はほとんど変わらず、全業種においてマイナスとなっている。今後の見通しにおいては、全業種で△32.0ポイントとマイナス幅が減少し、前回調査と比べてもマイナス幅が減少している。

## 3. 仕入単価について

・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	23.1%	67.9%	9.0%	14.1	10.3	24.4
		製造業	31.8%	68.2%	0.0%	31.8	27.3	13.6
		卸・小売業	27.8%	60.8%	11.4%	16.5	11.4	15.2
		飲食・宿泊業	47.9%	45.8%	6.3%	41.7	35.4	33.3
		サービス業	13.5%	82.7%	3.8%	9.6	3.8	11.5
		全業種合計	27.6%	64.9%	7.5%	20.1	15.1	20.1
地域別 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	25.0%	50.0%	25.0%	0.0	0.0	0.0
		製造業	28.6%	71.4%	0.0%	28.6	14.3	0.0
		卸・小売業	50.0%	25.0%	25.0%	25.0	25.0	25.0
		飲食・宿泊業	50.0%	50.0%	0.0%	50.0	50.0	25.0
		サービス業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
		全業種合計	28.0%	64.0%	8.0%	20.0	20.0	8.0

<全域コメント> 仕入単価は、前年同期と比べて全業種20.1ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業と製造業の上昇が目立つ。前期比でも全業種15.1ポイント上昇。今後の見通しでも全業種20.1ポイント上昇予想である。又、前回調査見通しとの比較では9.6ポイント上昇である。特に、飲食・宿泊業は上昇傾向であり、売上原価を押し上げている。

<当地区コメント> 仕入単価は、前年同期と比べて「不変」と回答する事業所が多いが、業種全体では20.0ポイントであり、前期比でも全業種で20.0ポイントとなっており、「上昇」を回答する事業所が多いことは変わらない。今後の見通しでは、全業種で8.0ポイントとなっており、前回調査と比べてもポイントは低く、売上原価の上昇も一服感が伺える。

#### 4. 販売（客）単価について

・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	7.7%	71.8%	20.5%	△ 12.8	△ 14.1	△ 7.7
		製造業	4.8%	76.2%	19.0%	△ 14.3	△ 14.3	0.0
		卸・小売業	11.4%	54.4%	34.2%	△ 22.8	△ 31.6	△ 30.4
		飲食・宿泊業	6.3%	56.3%	37.5%	△ 31.3	△ 41.7	△ 33.3
		サービス業	5.8%	76.9%	17.3%	△ 11.5	△ 11.5	0.0
		全業種合計	7.9%	65.5%	26.6%	△ 18.7	△ 23.4	△ 16.5
地域別 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
		製造業	14.3%	57.1%	28.6%	△ 14.3	△ 14.3	0.0
		卸・小売業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
		飲食・宿泊業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
		サービス業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 16.7	0.0
		全業種合計	4.0%	64.0%	32.0%	△ 28.0	△ 28.0	△ 20.0

<全域コメント> 販売単価は、前年同期と比べて全業種△18.7ポイント低下。前期比でも△23.4ポイント低下。今後の見通しでも△16.5ポイント低下予想である。特に、飲食・宿泊業の低下が目立つ。しかし、前回調査見通しとの比較では全体で12.7ポイント改善しているが、卸・小売業と飲食・宿泊業では、改善が見られない。

<当地区コメント> 販売単価は、前年同期と比べて全業種△28.0ポイントとなっており、前期との比較でも全ての業種で同じ数値となっている。建設業と飲食・宿泊業で販売単価の減少が多い傾向となっている。来期の見通しについては、全業種で△20.0ポイントであり、前回調査と比べても卸・小売業、製造業、サービス業で販売単価の減少に落ち着きが見られ始めている。

#### 5. 資金繰りについて

・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

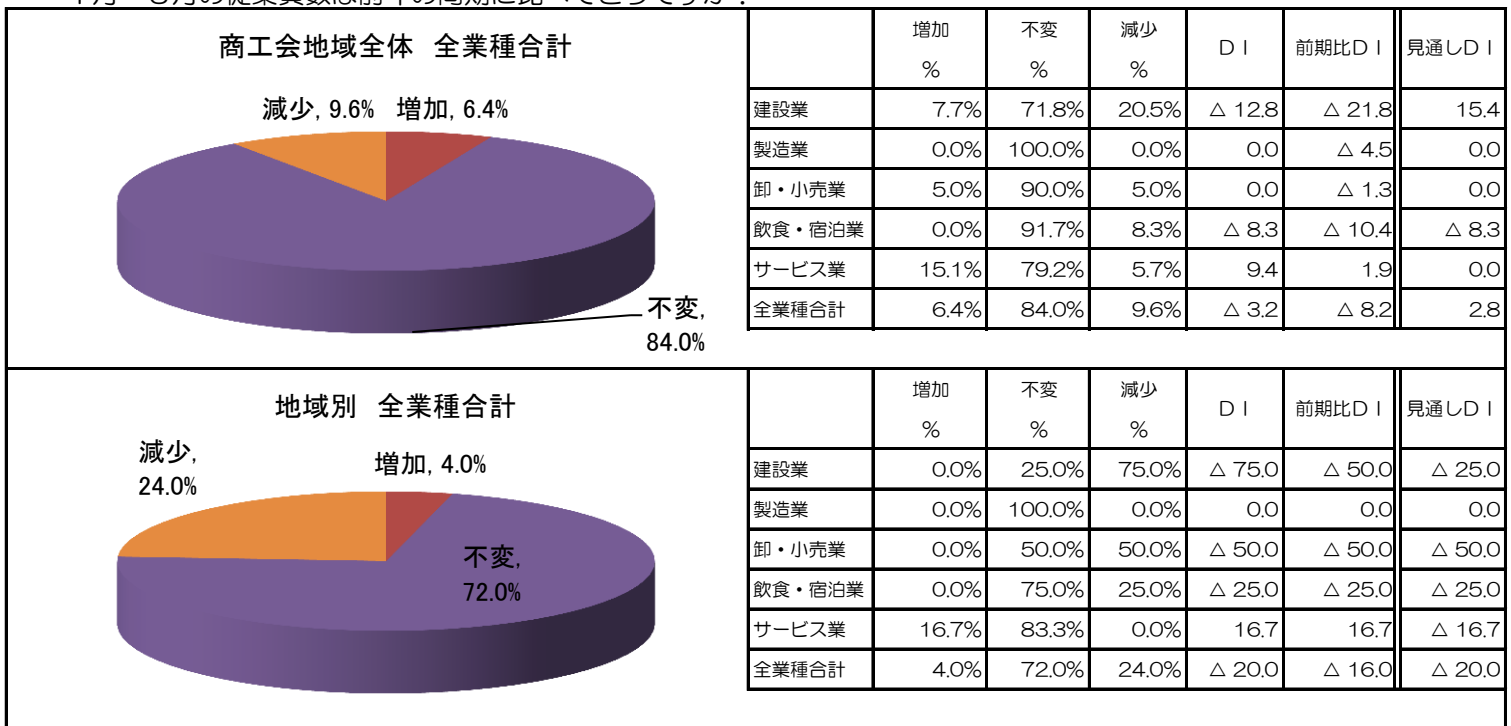
商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	19.2%	60.3%	20.5%	△ 1.3	△ 12.8	△ 11.5
		製造業	0.0%	77.3%	22.7%	△ 22.7	△ 27.3	△ 13.6
		卸・小売業	5.0%	62.5%	32.5%	△ 27.5	△ 33.8	△ 27.5
		飲食・宿泊業	4.2%	68.8%	27.1%	△ 22.9	△ 33.3	△ 33.3
		サービス業	9.4%	79.2%	11.3%	△ 1.9	△ 9.4	△ 7.5
		全業種合計	9.3%	67.3%	23.5%	△ 14.2	△ 22.8	△ 19.2
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	△ 25.0
		製造業	0.0%	57.1%	42.9%	△ 42.9	△ 57.1	△ 42.9
		卸・小売業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
		飲食・宿泊業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 25.0
		サービス業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
		全業種合計	0.0%	68.0%	32.0%	△ 32.0	△ 36.0	△ 32.0

<全体コメント> 資金繰りは、前年同期と比べて全業種△14.2ポイント悪化。前期比でも、全業種で△22.8ポイント悪化している。今後の見通しでも、全業種△19.2ポイント悪化を予想している。又、前回調査見通しとの比較では、14.9ポイント改善しているが、卸・小売業と飲食・宿泊業は、悪化傾向であり、注視する必要がある。

<当地区コメント> 資金繰りは、前年同期と比べて全業種△32.0ポイント。前期比においても全業種で△36.0ポイント。来期の見通しにおいても全業種で32.0ポイントと数値に変化がない結果となっているが、前回調査でも前年同期比で「好転」と回答する事業所がゼロであったため、「悪化」傾向が続いているものと思われ、注視する必要がある。

6. 従業員数について

・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

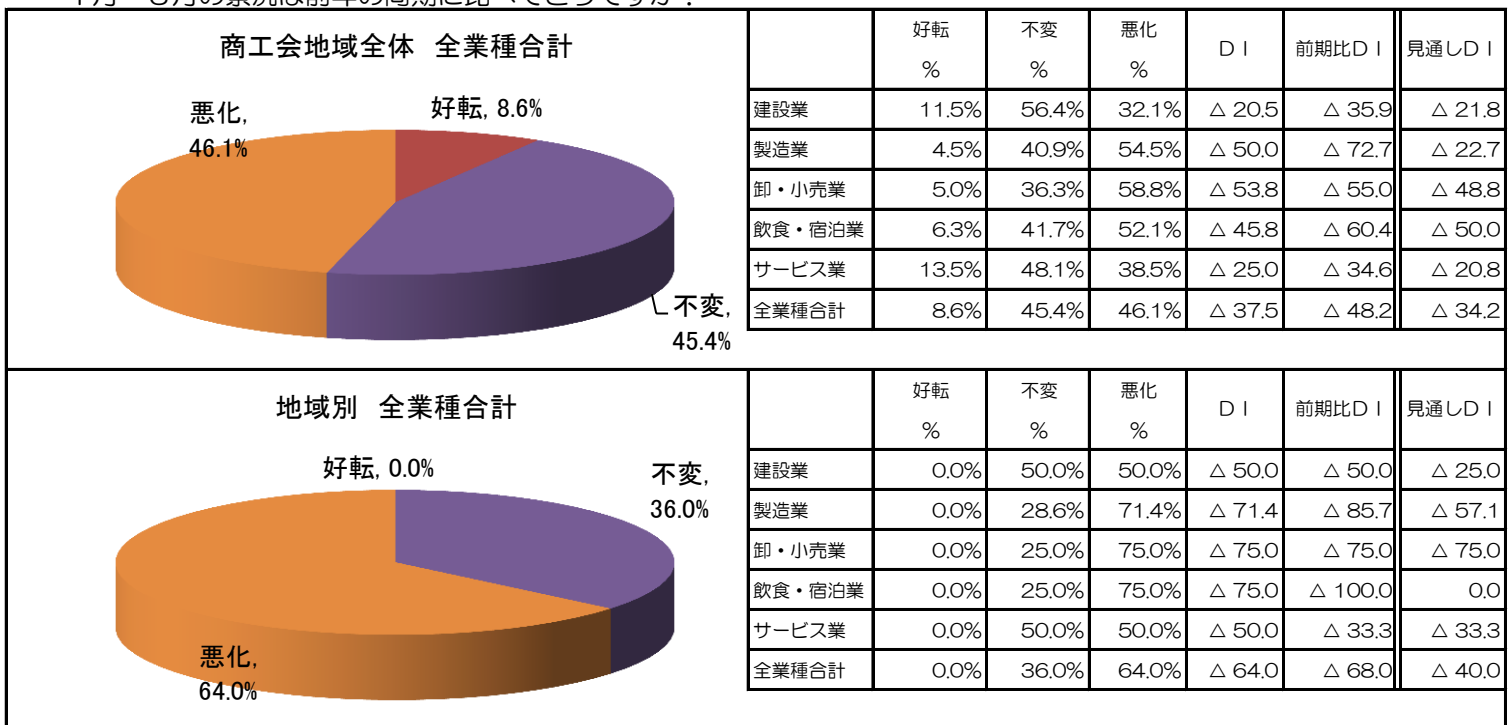


<全域コメント> 従業員数は、前年同期と比べて建設業と飲食・宿泊業で減少、サービス業は増加。前期比では、サービス業以外は減少し、今後の見通しでは、建設業が増加、飲食・宿泊業が減少予想となっている。又、前回調査見通しとの比較では、全業種で11.5ポイント改善している。

<当地区コメント> 従業員数は、前年同期と比べて建設業と卸・小売業、飲食・宿泊業で減少、サービス業は増加。前期比では、サービス業で増加、製造業で不変、他は減少している。今後の見通しでは、製造業で不変以外は減少予想となっている。

7. 景況判断について

・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

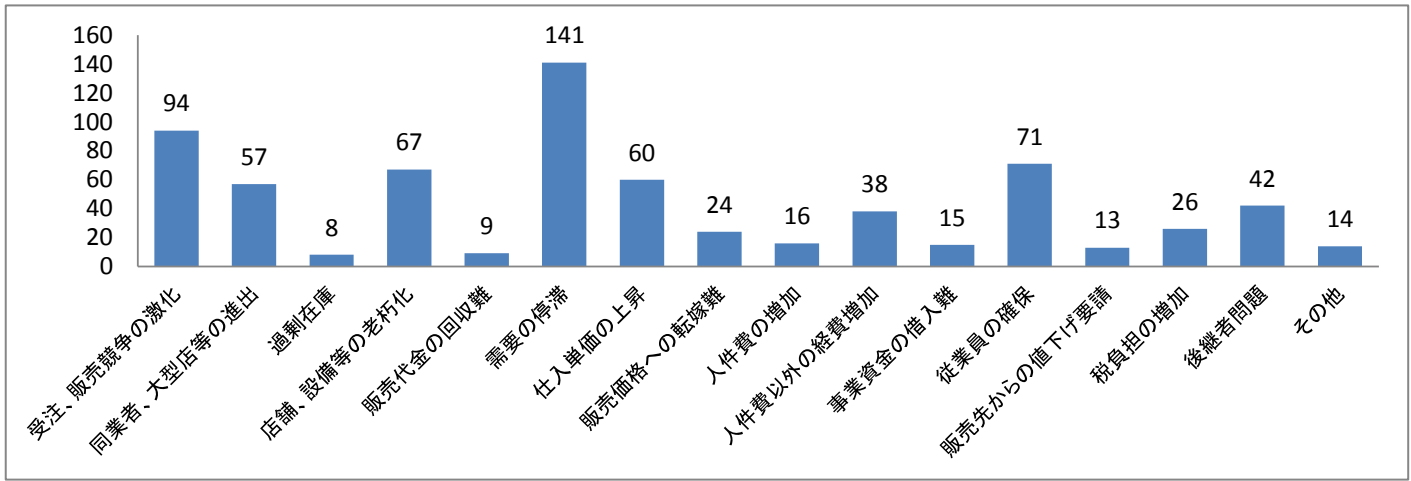


<全域コメント> 景況判断は、前年同期と比べて全業種△37.5ポイント悪化。製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業の悪化が目立つ。前期比では、全業種△48.2ポイント悪化。製造業と飲食・宿泊業の悪化が目立つ。今後の見通しでも、全業種△34.2ポイント悪化予想。前回調査見通しとの比較では、22.1ポイント改善予想している。

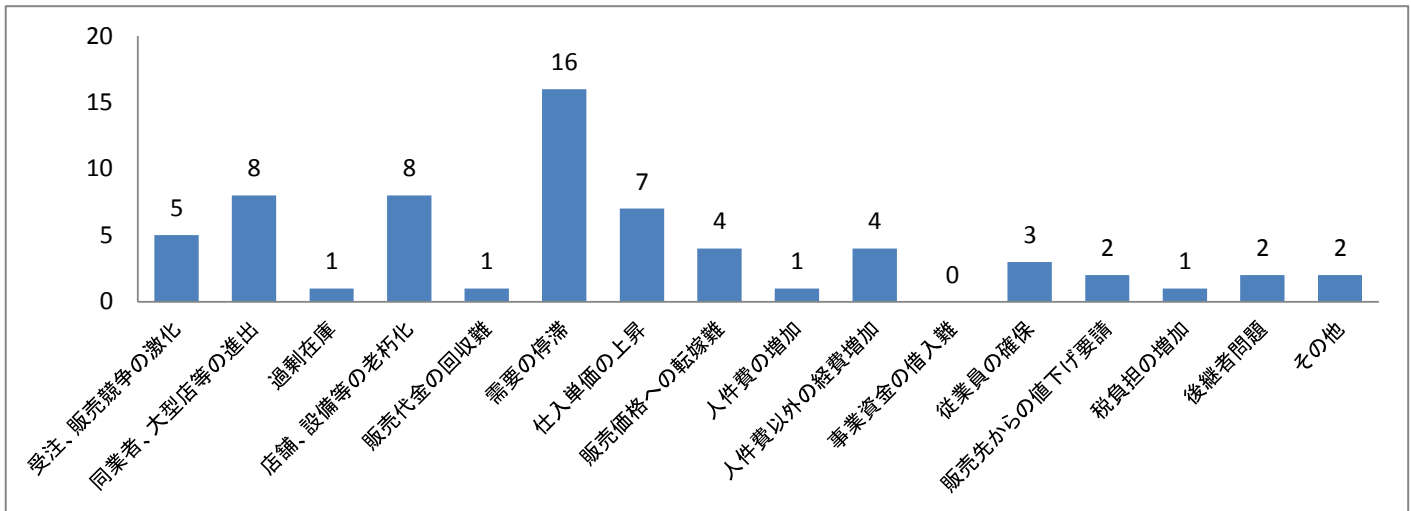
<当地区コメント> 景況判断は、前年同期と比べて全業種△64.0ポイント、全ての業種で「好転」がなく、「不変」または「悪化」の回答である。前期比においても全業種で△68.0ポイント、特に飲食・宿泊業の景況判断が悪い。来期の見通しでは、全業種で△40.0ポイント、飲食・宿泊業では「好転」と「悪化」の回答が均衡しており、見通しが分かれた状況になっている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）

商工会地域全体 全業種合計



地域別 全業種合計



＜全域コメント＞ 経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「従業員の確保」4位「店舗、設備等の老朽化」となり、前回調査との比較で、2位と3位が入れ替わった。又、仕入単価の上昇を問題点に上げた方が大きく増えた。

＜当地区コメント＞ 経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」、「店舗、設備等の老朽化」4位「仕入単価の上昇」となり、前回調査との比較で、2位以下に順位の変動はあるが、毎回「需要の停滞」が問題点のトップとなっている。

9. 後継者の状況について

- 1月～3月時点での後継者の状況は

商工会地域全体 全業種合計

	有り	無し
建設業	41.6%	58.4%
製造業	59.1%	40.9%
卸・小売業	28.8%	71.3%
飲食・宿泊業	43.8%	56.3%
サービス業	42.6%	57.4%
全業種合計	39.9%	60.1%

地域別 全業種合計

	有り	無し
建設業	75.0%	25.0%
製造業	42.9%	57.1%
卸・小売業	0.0%	100.0%
飲食・宿泊業	0.0%	100.0%
サービス業	16.7%	83.3%
全業種合計	28.0%	72.0%

＜全域コメント＞

後継者の状況は、全業種合計60.1%の事業所で後継者がいない状況である。特に、卸・小売業では、71.3%の事業所で後継者がいない。

＜当地区コメント＞

後継者の状況は、全業種合計72.0%の事業所で後継者がいない状況である。特に、卸・小売業、飲食・宿泊業では、全ての事業所で後継者がいないという回答である。

## 10. 地域全体の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

### <全域コメント>

#### 【建設業】

今期の景況を前年同期で比較すると、材料単価の上昇により工事原価が増加し、受注単価の減額と受注工事の減少により採算が悪化している。前期との比較では、材料費の上昇による工事原価の上昇と当地域の特性である冬場工事の減少により採算が悪化し、資金繰りも容易でない状況である。今後の見通しでも、例年通り工事発注が鈍く、短期雇用者の雇入れ及び材料費の上昇により支出が増加していくことから楽観視していない。又、経営上の問題点として、1位「受注、販売競争の激化」、2位「需要の停滞」となっており、この項目からも厳しい見方をしている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は24.4ポイント改善予想をしている。

#### 【製造業】

今期の景況を前年同期で比較すると、材料単価の上昇により製造原価が増加し、受注単価の減額と売上減少により採算が悪化し、資金繰りにも影響を及ぼしている。前期との比較でも、この悪化傾向は深刻になっているが、今後の見通しでは、材料単価の上昇はあるものの、売上回復を見込んでおり、明るい兆しが見える。経営上の問題点として、前回「需要の停滞」が群を抜いていたが、今回2位「受注、販売競争の激化」、3位「従業員の確保」とほとんど差のない回答数となっていることから、明るい兆しが見えている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は34.6ポイント改善予想をしている。

#### 【卸・小売業】

今期の景況を前年同期で比較すると、仕入単価の上昇と販売単価及び売上の減少により採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向に歯止めが掛らず更に悪化し、今後の見通しでも、更に厳しい見方をしている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は21.5ポイント改善予想である。又、経営上の問題点のトップ3は、前回と同様に「需要の停滞」「受注、販売競争の激化」「同業者、大型店等の進出」と外部要因となっている。

#### 【飲食・宿泊業】

今期の景況を前年同期で比較すると、仕入単価の上昇と販売単価及び売上の減少により採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向に歯止めが掛らず更に悪化し、今後の見通しでも、更に厳しい見方をしている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は21.8ポイント改善予想である。又、経営上の問題点は、1位「店舗、設備等の老朽化」となり、内部要因が1位となった他、内部要因の「従業員の確保」も4位となっている。

#### 【サービス業】

今期の景況を前年同期で比較すると、従業員数を増やしたものの売上が減少し採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向は変わらず、今後の見通しでは、売上増加を予想し、採算も回復していくと予想しているが、経営上の問題点として「需要の停滞」の回答数が群を抜いており、回復予想は希望的と思われる面もある。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は13.3ポイント改善予想である。

以上の業種別景況概要を踏まえると、前年同期で比較すると売上原価の上昇と売上単価の減額並びに売上減少により採算が悪化していると言える。前期(秋)と比べても悪化傾向にあり、今後の見通しでは、製造業とサービス業に明るい兆しが見えるものの、全体としては厳しい状況に変わりないと思われるが、前回調査見通しとの比較では、売上は29ポイント改善予想をしており、若干の期待感が窺える。

### <当地区コメント>

#### 【建設業】

前年同期比では、販売単価の減少と従業員の減少傾向がみられ、前期比ではそれに加えて売上も減少し、採算性が悪化、景況判断はいずれも△50.0ポイントとなっている。来期の見通しにおいても売上の減少、販売単価の減少、採算性の悪化、を回答する事業所が多く、景況判断は△25.0ポイントとなっている。経営の問題点としては、「店舗・設備等の老朽化」、「需要の停滞」などが上げられている。

#### 【製造業】

前年同期比、前期比ともに売上の減少、仕入単価の上昇傾向により、採算性が悪化し、資金繰りにも影響を与え景況判断は悪化という結果になっている。来期の見通しでも仕入単価を横ばいと見る以外は、同じ傾向が伺える。経営上の問題点では、「需要の停滞」、「受注・販売競争の激化」、「同業者・大型店等の進出」が多く上げられている。

#### 【卸・小売業】

前年同期比、前期比ともに売上の減少、販売単価の減少、仕入単価の上昇傾向により、採算性が悪化し、資金繰りにも影響を与え景況判断は悪化という結果になっている。来期の見通しでも、同じ傾向が伺え、雇用動向も減少すると見込んでいる。経営上の問題点では、「同業者・大型店等の進出」、「需要の停滞」が多く上げられている。

#### 【飲食・宿泊業】

前年同期比、前期比ともに売上の減少、販売単価の減少、仕入単価の上昇傾向により、採算性が悪化し、資金繰りにも影響を与え景況判断は悪化という結果になっている。来期の見通しでは、販売単価は「減少」という見方が多いものの、売上は「増加」と「減少」が半々になり、景況判断も別れる結果となっている。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」、「店舗・設備の老朽化」、「需要の停滞」が多く上げられている。

#### 【サービス業】

前年同期比、前期比ともに「増加」や「好転」という明るい兆しの回答は1件もなく、売上の減少により、採算性が悪化し、景況判断は悪化という結果になっている。来期の見通しでは、売上は「増加」と「減少」が半々、採算性も「好転」と「悪化」が半々になっているが景況判断としては依然として「悪化」という結果になっている。経営上の問題点では、「需要の停滞」、「店舗・設備の老朽化」、「販売価格への転嫁難」などが上げられている。

以上、第4四半期における景況判断は、全ての業種において売上の減少や採算性の悪化、資金繰りの悪化などの要因により景況判断は悪化しているとみられる。来期の見通しにおいては、前回調査より好転している部分もあり、全体的には△40.0ポイントであるが、マイナス幅の減少という観点から明るい兆しも多少見えている。